

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年4月24日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4674800117
法人名	有限会社 ファースト・ケア
事業所名	グループホーム いこい
所在地	鹿児島県出水市高尾野町大久保1432番地1 (電話) 0996-82-5537
自己評価作成日	平成27年3月5日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年3月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様とご家族様の意思を尊重しできるだけの協力の中で利用者様に対し良いケアに繋がれるように努力をしている。年一回の家族会を開き年の行事の様子、写真などを見てもらう等し、個別面談を開きご家族様からのご意見・ご感想を聴きケアに繋げている。その他にもいつでもご家族様の話を聴けるように、役職の者がいるようにしている。中庭に畑・プランターに野菜などを作り、天候の良い日は利用者様と手入れをしている。今年、初めてターミナルケアを試み、利用者様、ご家族様、医療連携等の協力の元で実現できた。次回できるかは不明だが、フタッフ・ご家族様・医療関係者の連携が密にとれる状態で臨みたい。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは高尾野町の自然豊かな住宅地域に立地し、同敷地内にデイサービスセンターが併設されており、緊急時等の協力体制が築かれている。
- ・地域行事に積極的に参加したり、事業所の行事にも保育園児や地域住民が参加するなど日常的に交流している。認知症サポーター養成講座の実施や看護学生の実習・サマーボランティアの受け入れ等、地域との交流に取り組んでいる。
- ・利用者の習慣や楽しみを把握し、菜園の手入れやエプロン姿での調理に参加してもらうなど、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割を支援している。
- ・災害対策として、定期的な避難訓練と自主訓練を実施している。安全対策の設備整備もされ、地域住民との協力体制もできている。
- ・管理者は、話しやすい環境を整えて、職員の意見や提案を積極的に聞き運営に反映させている。職員はケア対応等のさらなる向上を目指している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	施設内・廊下等に掲示し、日々ケアに繋げている。	理念は事業所内の目に付きやすい場所に掲示し、パンフレット等にも掲載している。ミーティングや会議等で意識づけし、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	出水市内の看護学生の実習受け入れや敬老会に地域の保育園児を招待し交流を行っている。地域のボランティアズパーティーにも利用者様をお連れし参加させて頂いた。	市のクリーン作戦や交流館での行事に参加したり、地域の物産館やチャリティーコンサートに出かけている。保育園児との交流や小・中・高校生のサマーボランティア、一般のボランティア、看護学生の実習の受け入れ等も行い、地域との交流を図っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	看護学生実習・サマーボランティアの学生さん達・多くの方に認知症の理解をして頂けるように努力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>地域の民生員・自治会長・行政関係者・ご家族様代表・当施設の関係者の参加して下さる中で定期的な開合を行っている。出た内容は市に報告し、改善案があれば実施している。</p>	<p>会議は定期的開催している。事業所の状況や外部評価の報告を行い、地域行事の情報を得る等、意見交換も盛んである。会議での意見等を日々のサービスに活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市の担当者に事業者の置ける現状報告・相談事・情報交換等も常に行っている。</p>	<p>市の担当者とは日頃から連携を取り、事業所の実情やサービスの取り組みを伝え情報やアドバイスを得ている。運営推進会議を通して協力関係ができている。市主催の研修会にも積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>利用者様の尊重を守る上で重要な事柄なので慎重に職員間で話し合い、上司にも報告し協力して実施している。</p>	<p>定期的開催する勉強会で、事例をあげて検討を行い、職員の共通認識を図り、拘束のないケアの実践に取り組んでいる。言葉による拘束についても日々確認し配慮している。日中は玄関の施錠をせずに、利用者が外に出て行く場合は、花の手入れや散歩等を一緒に行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている</p>	<p>年度に勉強会を実施する計画をしています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>勉強会を実施する計画をしています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時は十分な説明をして疑問や不安な事が無い様にしている。その場でご家族様が持ち帰りを希望する際も応じて疑問など無い様にしている。再度契約を交わす際には話をしっかり聴く姿勢で誠意を持ち行っている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>随時、面会時、家族会時などでご家族様からの意見は真摯に受け止め職員間で共有し状況に応じて代表者に伝えている。</p>	<p>利用者からは日々の関わりの中で思いを聞いている。家族からは面会や家族会・運営推進会議の折に意見や要望を聞いている。食事会を兼ねた家族会では個別面談を行っている。出された意見や要望は職員で話し合い運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員からの意見は随時聴けるように、管理者・主任が立ち対応している。ミーティングなどで情報共有し改善に向けて実施している。</p>	<p>管理者はミーティングや会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設けたり、個別相談も含めアイデア等も活かされている。管理者は代表者に職員の意見を伝え、その反映を図っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>上司が常勤しており必要であれば職場環境改善に繋がられる様に努力している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>地区内・県内のグループホーム協議会・市からの研修に赴き、ケア向上に繋がられる様になっている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域のグループホーム協議会・他の施設に勉強会に参加させてもらい、サービス向上に繋がっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	在宅であれば、ご家族と共にお会いし不安の無い様にし、他施設であれば、関係者を付添し少しずつ関係性を構築できるように努力している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居までにご家族様の抱えている不安、お困りの事などを真摯に受け止め要望などあれば、できるだけ添える様に努力している		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居にあたり本人様がどのような支援が必要かを見極めケアマネージャーよりアセスメントを作成しご家族様の意見を聴きながら必要に応じた対応に努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護に対する意識でなく介護をさせてもらう立場を意識し共にゆっくりとした時間を送ってもらう為に関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族様・職員・本人様との連携を密に持つ事で環境作りから努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>以前、地域の住んでいる方、知人、親族の方々、面会に来て下さった方との交流を取って貰える様に随時受け付けている。</p>	<p>親戚や馴染みの友人・知人の訪問を奨励し、関係を継続できるように努めている。行きつけの理美容院の利用や法事・受診・外出・墓参などは家族の協力を得たりして支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者様同士の会話が成り立つように職員が間に入り橋渡しを行っている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>ご家族様、ケアマネージャーと退去後も必要に応じて連絡等が取り合える様に努力をしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人様から聴かれる事、ご家族様からの意思など日々聞き入れて把握に努めている	家族からの情報を得、利用者からは日々の関わりの中で様子を観察し、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。意思疎通が困難な場合は、利用者本位の支援に結びつくよう職員で話し合い支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	できるだけ、生活環境が変わらない様にご家族様の理解と協力を得る事で本人様の暮らしを良い方向に行ける様に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の過ごし方、状態などを職員で情報の共有し記録にも残し良いケアに繋げる様に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回もしくは、何か変化などある場合はケアマネージャーに相談しモニタリングに繋げ、良いケアに繋がられる様に努めている。	本人や家族の意向を確認し、担当者会議で話し合い、個々に応じた介護計画を作成している。1ヶ月毎にモニタリングを実施し、3ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の生活の様子などちょっとした事なども職員間で情報共有して介護計画に活かせるようにしている</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者様を支える為にも職員一同情報共有し色々な局面でのケアに繋げられる様に努めている</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域のボランティアパーティーに参加や敬老会にて地域の子供と触れ合う機会を持ち本人様が日々を楽しめるように今後も努力していきたい</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人、ご家族の意向など聴き主治医の協力・連絡が常に取れるように、今後も努力していきたい</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医と事業所の関係を築きながら対応している。通院は家族同行の支援をしている。協力医療機関の往診や緊急時の対応など連携を取りながら適切な医療の支援に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>常勤ではないが、職員にいる看護師より情報や助言を元に利用者様の細かい事柄を気付ける様に職員一同情報共有を行っている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者様が万が一入院する事になった場合は、入院された看護担当者等と随時連絡・連携が取れるようにしていく</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化された時など、先の話ではあるが、個別により各ご家族に話を随時していく</p>	<p>契約時に事業所として取り得る対応を説明し同意を得ている。状況変化に伴い本人や家族の意向を確認し、主治医と連携して家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。家族の要望に沿って、看取りを実施した事例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>ミーティングなど急変時の対応や応急処置など覚え、習得できるように努めたい。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2度程、火災、地震想定訓練を行っている消防署からの指南を受け、避難ができるように訓練を行っている。近所の方にも体勢を取って頂けるようにして行きます</p>	<p>年2回消防署指導のもと、併設のデイサービスセンターと合同で、昼夜間想定避難訓練を実施している。その内1回は運営推進会議を兼ねて実施し、委員や地区住民も参加し、助言を貰っている。自主訓練もしている。スプリンクラーや緊急通報装置も設置され、災害時用の水や食料の備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の尊重を守る上で人格を尊重し損ねない言葉掛けや対応をおこなっている。スピーチロックについても勉強会にて勉強している	日々の関わりの中で、利用者の尊厳とプライバシーに配慮したケアや言葉かけに努めている。スタッフ会議や時機を得た勉強会を行い研修を行っている。記録類は事務室にて管理を徹底している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様に合わせた物事を自己決定してもらいそれに対する職員の対応を心がける。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様にとってのその人らしさを常に考えお一人おひとりのあった過ごし方を考えていく		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	利用者様が身だしなみをしっかりできるように、日々支援を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しめるように、彩や味など変えて提供している。食事のお手伝いをして頂いたり、食事の関わりなどもお願いしている。	菜園からの野菜を採取して、利用者の希望に添った献立や自己摂取できる食事形態を工夫している。利用者も可能な範囲で準備や片づけを職員と一緒にしている。誕生会や季節の行事食などで季節を感じたり、食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養摂取や水分確保は、ある程度情報を職員で共有し、食事が入っていなかったら、別の物で対応したり、水分もお茶の苦手な方には別な物をお出ししている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアはできる方には、自分自身で毎食などブラッシングされたり出来ない方には、うがいやスポンジブラシを使用させてもらい口腔ケアに望んでいる		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の支援として、生活の時間としてトイレの声掛け、介助を行い、自然排泄を促している。日々の排泄習慣を身に着けて貰い、排泄コントロールを目指している。	排泄パターンを把握し、個々に応じた声かけや誘導でトイレでの排泄を大切にしている。食物繊維の多い食材などで食生活を工夫し、自然排便を大切にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘にならない様にできるだけ自然排泄に繋がるように排泄コントロールを行っている。利用者様の中には、主治医より薬剤にて便秘予防している方もいます		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴に関しては、できるだけその方が入りたい時間に入って頂きたいのですが、体調等など考慮し時間帯をこちらでお願いしている現状です	入浴は基本的には週3回であるが、利用者の午前または午後の希望に浴えるように努めている。必要に応じ複数介助や同性介助を行ない、安心してゆっくり個浴を楽しんでもらえるようにしている。入浴を拒む人にも職員間で連携し、声かけなど工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安眠・休息として、利用者様の中にはご自身で、コントロールされている方もいますが、職員により昼や具合が悪くなる前に居室へ移動しベッドにて休息を取って頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬に関しては、主治医・薬剤師の指示の元しっかり服用してもらうように看護師より支援など把握している。変化があればその都度報告がある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>日々の利用者様には、できる方にはその方ができる事を伸ばすつもりで日々楽しんでもらえる様に、少しずつではあるが役割をお願いしている</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>利用者様の日々の体調の変化で外出できない場合もあるが、体調と天候次第では行ける様にしている。ご家族様の協力のもと外出される方もいらっしゃいます。</p>	<p>日常的には近隣の散歩や買い物に出かけている。中庭や敷地内でも犬と散歩したり、菜園の手入れをしている。年間計画で月1回の外出でドライブ及び利用者の希望で買い物等を兼ねて、できるだけ頻回に出かけられるように支援している。家族の協力ですぐ外出や墓参・外食にも出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の所持として、手持ちをしている方はいますが、トラブルの元になるので、できるだけ控えて頂いている。外出時、買い物ができる場合は職員と共に使う支援を行っている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>利用者様の意向やご家族様からの電話を取り次いで話ができるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様にとっての環境設備の大切さは職員一同わかっているので不快・不安・混乱するのような事が無い様に日々心掛けています。	共用の空間は換気や採光に配慮し清潔である。中庭には野菜や花など季節感の工夫がしてあり開放的である。廊下には行事の写真や作品などを飾り、その周囲のソファで心地よく過ごせるよう配慮されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ココでは食堂が共有空間なので気のあった方々で歌を歌ったり話をしたり、テレビ・新聞などから話題になる事を話したりと職員からも働きを見せている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室での家族との面会等、一時を大事にする上で、ご家族・職員からの工夫を取り入れて、本人様が居心地のよい環境づくりを目指している	居室は日当たりが良く、明るい。ベッドや机・椅子・加湿器が備え付けである。仏壇や炬燵・マッサージチェア・電気カーペット・時計・写真など、これまで使い慣れた物が持ち込まれて、居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様の中には、ポジションバーをしようされ安全かつ自立した生活ができるようにしている。各居室によっては、配置なども違いもある		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない